



寝取妻

られる

許して
と

この
不倫
は
夫
のため
あなた、

1

ころすけ

この淫婦は夫への 愛裏切り



完全版

私
は
エロマンガ鳥

誰か教えて
欲しい…

これがもし
本当に愛
ならば…

教えて欲しい…

そして

見て欲しい

彼への愛が
そうさせるの
ならば…

私の愛は
壊れている…

私の愛が…

愛というもの
について…

スウッ

セクショナル

壊れてしまった理由を…



やっぱり高橋先生って
素敵だなあ…

いいなあ私も受付
じやなぎや先生を間近に
見られるのに…

おい三浦!

なーにサボってんだ?

サッ

……えっ!?

えっ? あ!!
鶴野さん!
すみませんつい…

セクシ

いいよ

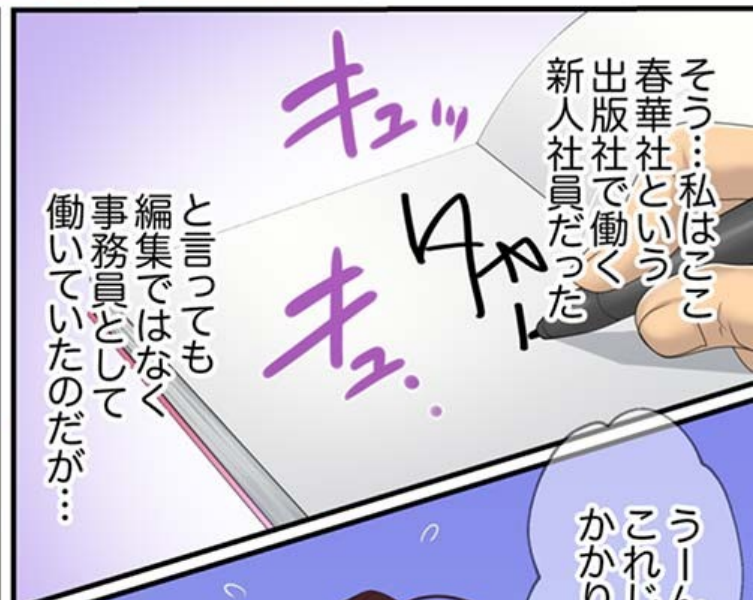
しばらく受付け
代わってやるから
行ってくる

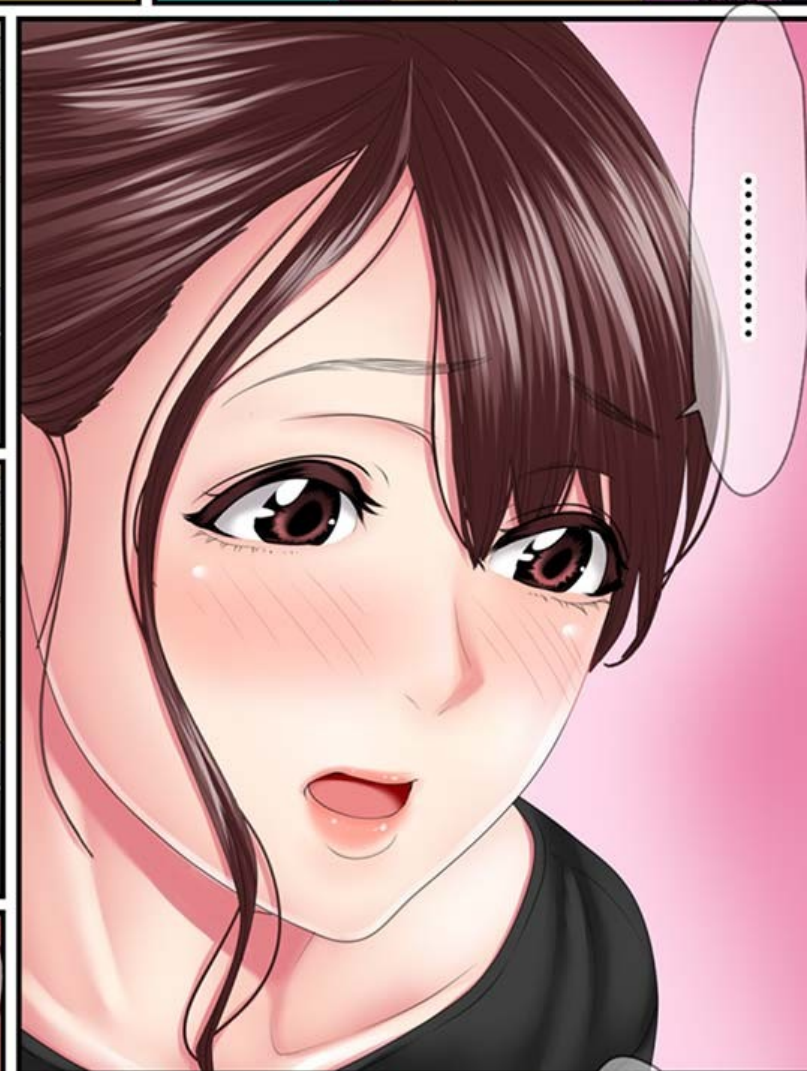
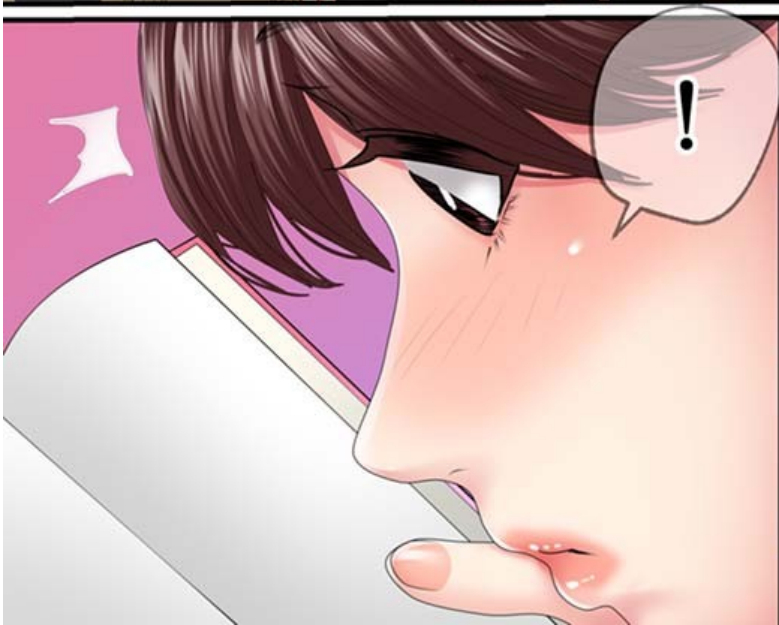
ファンだって
言ってたろ?

近くで
見て来いよ

あつ…
ありがとう
ございます!!

ええっ?
ででも…









やがて
先生とプライベートで
会うようになった

先生は過激な
小説の内容とは
裏腹に素朴で
誠実で...



青春のほとんどを
読書に費やした私には
とても話の合う人だと
感じた

そして...



何度が逢っている
うちに

あのさ...
雪音ちゃん...

...はい?

お互いの気持ちに
気づいた

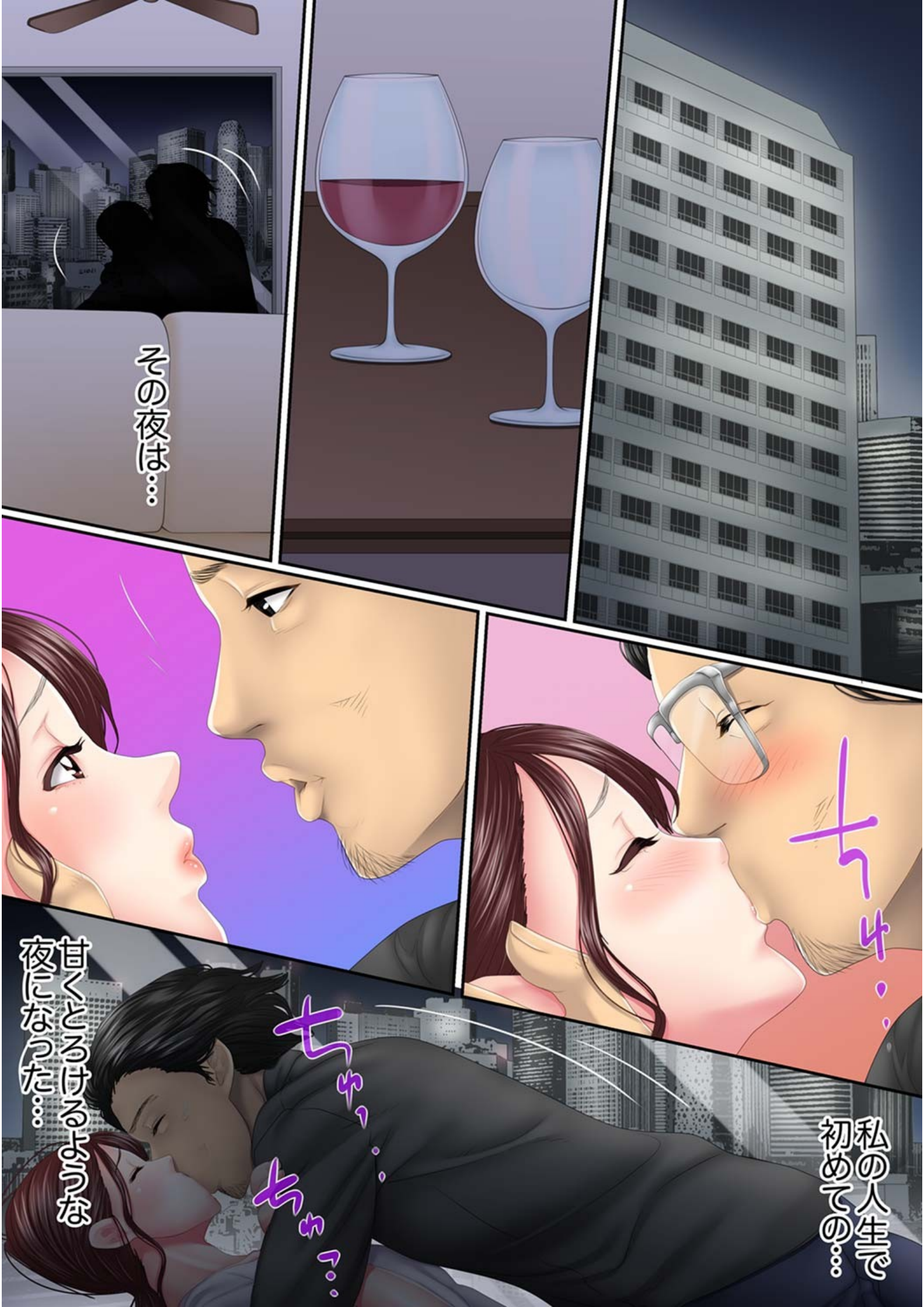


は...

...はい



この後うちに来ない?



その夜は...

ちゅ...

甘くとりけるような
夜になった...

ちゅ...ちゅ...

私の人生で
初めての...

ま待って…
ください先生…

あの…

面倒くさい女って
思われるかも
しれないんですけど…

ひとつだけ…
聞かせてください…

…何…?

あ…あの…

先生にとって…
私って何ですか?

ごめんなさい! 私…
先生の大ファンだから!
……

だからこれも…
その…先生の経験の
一部として…

ただの本の一部に
なるだけだったら
どうしようって…

作家の経験と
作品の内容はね…

残念だけどボクの
場合は特に…

じゃあ僕も本当の
ことを話そう

…そっか
本心を話してくれて
ありがとう

妄想が9割
ってところだね
…嫌かい?

ウソだ…
でも…

こ怖くて…

必ずしも比例する
ものじゃないんだ



数年後…

私は高橋先生との結婚を機に会社を辞め
専業主婦として過ごしていた

はあ…

よし

洗濯物終り

しかし私たちの
夫婦生活は…

決して順調ではなかった

キッ

へたん

おはよう…

のん



他に何かお手伝い
できることは
ありますか？

うーん…



いやー全く…

そうですか…

あお食事そこに
用意してます
から…



あおはよう
ございます！

知之さん

夕べはお仕事
はかど
捗りました？



公園行って…

ネタ考えて
来る



え？なんですか？

雪音ちゃん今日さ
多分担当さんが
来るから…



ケーキ買って
来るよ

雪音ちゃんの
好きなモンブラン

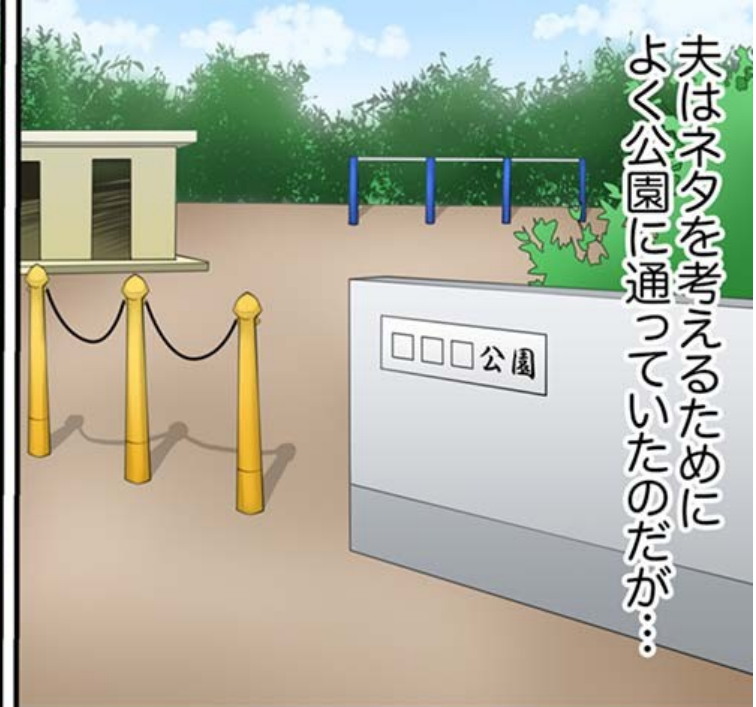


あゝ知之さん！
おうちのなかで
吸っちゃ…

担当さん
来たら適当に
言っておいて

アッ

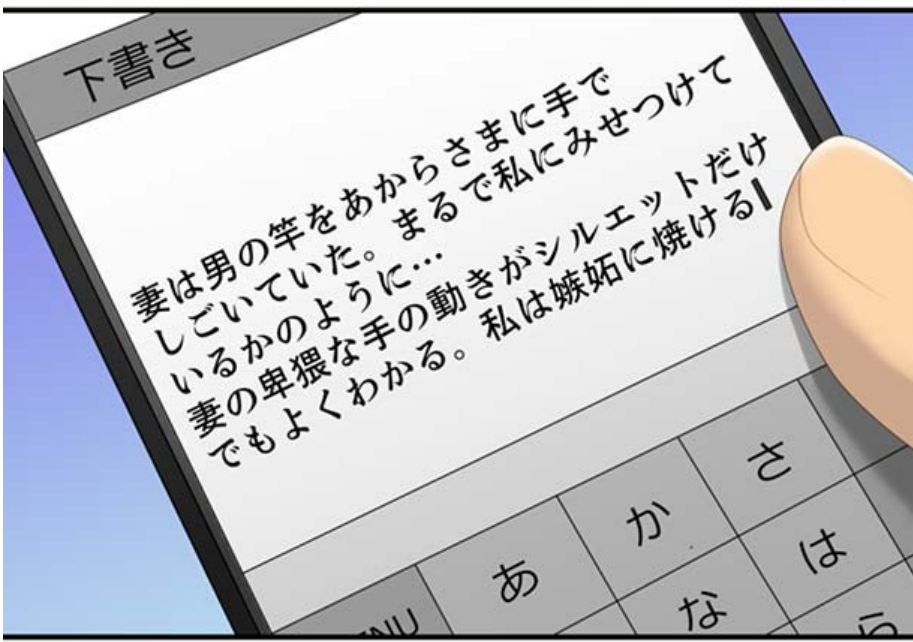
夫はネタを考えるためによく公園に通っていたのだが...



ここ数年はヒット作が出ず収入も減っていたためか



焦りという立ちでいつしか回数も減り暗い性格になりつつあった...







おう好きって
言ってただろ？

えー言いましたっけ？

会社にいた
頃な

へえ！覚えてて
くれたんですね！
嬉しいです！

そして4年で
編集長になり
この頃には
夫の担当編集も
兼ねていた



わ！
モンブラン♪

鶴野さんは私がいた
当時から社内イチの
敏腕編集者で
頭の切れる人だった



どうって…あ…
やっぱり今仕事うまく
いってないんですか？

担当さんがうちに
直接来るくらい
だから…



…あのさ雪音に
こんなん聞くのも
あれだけど…

先生って最近どう…？



知之さん
自分の事全然
私に話してくれ
ないから…

ずっと書斎に
籠ってはいら
んどすけどね…



まあ落ち込み
気味ではある
かな…

つか原稿も
あがつてきて
ないんだよ

ひゃー!!
ごめんなさい!!



さっきから
何度もメール
送ってはいるん
ですけど…

反応なくて…



知之さん帰って
来ないな…

もう1時間
経つの…



かわいいよな

相変わらず…

……えっ？



もう一回
送って
みますね…

……



……雪音

お前ってさ……





鶴野さん...

何を...んっ!!...

んっ!!...

...っ...

どうして
こんなことっ!!...

どうして...

やめて
くださいっ!!...

高橋先生な…
実はもう崖っぷち
なんだよ

っっ!!

売れ行きも新作を
出す度に落ちてる

!!

本人からも
書きたい意思が
伝わってこない

悪いけど…

次で売れなきゃ
ウチで執筆してもら
うことは難しい

そ…んな……

『先生を助きたい』…

お前も言ったろ？
『ネタがあれば』…

俺も同じだ!

だから…



これは先生の
ためだ！

嫌あつ!!

あー



俺とお前でっ!!...

もぞ

!!



止まんねーわ...

悪い...



ダメ!
そこは...

ダッ...



あつ!

何もっ...

ないんだったら...

あう...

作れば
いいじゃ
ねーかよ...



指…

抜いてくださいっっ…!!



ああっっ!!…



ダメえ…!!



あああつ

ああつ
ダメっ…

だからって
こんなこと…

大丈夫…これも
先生に提供する
ネタのためだ…

先生のためなんだ



やつ…
んくううっつ!!



やつ…



ネタの出どころは
人に聞いたでも
何でもいい...

お前の体験を先生に
話して売れる本を
書かせろ...



ここから先は
俺次第...
お前次第だ...



わかるよな?
雪音...

もう先生は
後がない...



あ...あ...
ダメです...
鶴野さん...

それだけは...

あっ...あっ...!



それが先生の
ためだ!





やあ…あつっ!!…

あ…ひ…

こんなの…

酷いです…

はあ

はあ

んっ…くっっ!

んっ!

あつ!

抜い…あつ!

ザッ







ダメえええつつ!!

あああ
——つつ!!

あ...

あ...

やだ...
やだあ...

んあっ!...

な...中に出す
なんて...

ひひひ...!!

こんなの...

帰ってきた!

服を元に
.....

マズい!!

鶴野さん!

ごめんね!

4+11...

遅くなっちゃって...

いえいえ
お帰りなさい先生

大丈夫ですよ
雪音さんと久々に
昔の話で盛り上がって
いたところですよ!

おお帰りなさい
知之さん...

では打合せ
始めましょうか

今日は先生の為に
沢山時間を取って
来ましたから

じゃじゃあ
私はこれで...

フ...

席を外し
ますね!

いや雪音さん...

今日は雪音さんも
一緒に打合せを
お願いします

High Fidelity

えっ...

な何言ってるの？
鶴野さん…

わ私も
ですか…？

どづいて
…!?…

雪音ちゃんも…

何でまた…

先生単刀直入に
言わせていただきます

先生もご承知でしょうが
最近は先生の作品に
ヒットが出ていない

………!!

言うね
鶴野さん…

ご理解いただけ
ますね…？

………

これまで私達もできるだけの
尽力をさせていただいた
つもりです

ですがこのまま先生に
専属契約料をお支払いし
続けるには

是が非でも
次でヒットを出して
いただきたいんです

トクン…
トクン…

こう言うっては何ですが
先生のスタイルは
もう古いんです

こだわりの持つのは
いいのですが
それではコアな
ファンにしか受けない

High Fidelity

新しいファンを獲得する
ためには時に枠から
外れることも必要だと
僕は思う

僕らは長年やってきて
固定概念に縛られている
と感ずるんです…

High Fidelity
そこであえて
編集経験のない
雪音さんにも
意見を出して
いただきたい…

どうで
しょうか？

座りなよ

雪音ちゃん

断って…

断って
知之さん!!

そんな…
うそ…

どうして…?



何を考えて
いるの…!?

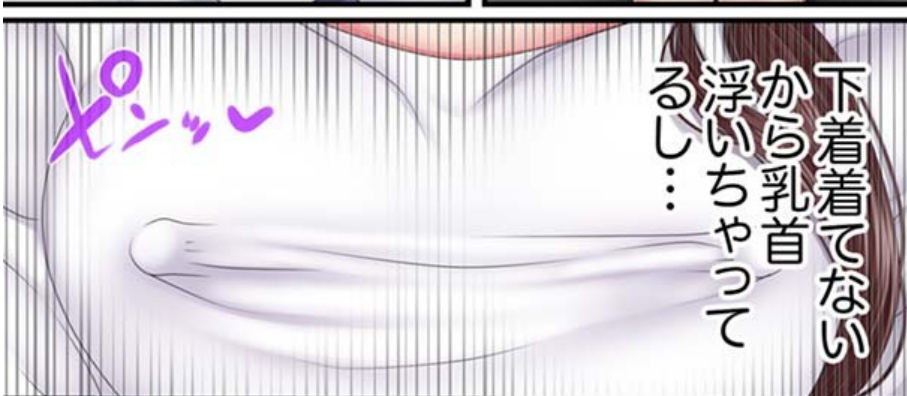
一体…

ス…

じゃじゃあ…
失礼します…



どうしてわざわざ
知之さんにバシそうな
状況に…!?



下着着てない
から乳首
浮いちやつて
るし…

ポンッ



アソコからは
鶴野さんのが
流れ出てきてる
…!!

レズ
レズ



何より
ヤバイのは…



マズいよ…

もじ

さっきので身体が
まだ反応してる…!!

もじ
治まっ
てない…!

ソファの下……!!

見られたら
お終いだよおお!!



さあ

それじゃあネタを
考えましょう!



何か次回作の
アイデアは
ありますか?

あ……
そ……



そうですね……

アイデア……

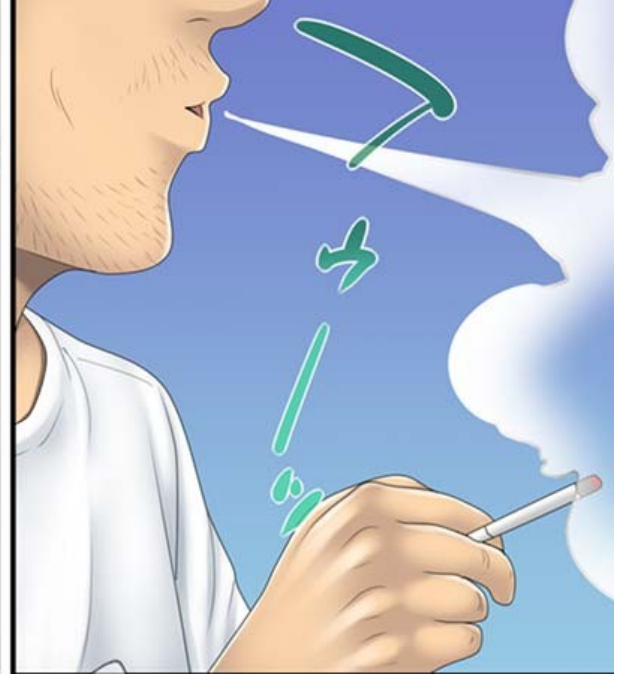


これはどうでしょう?

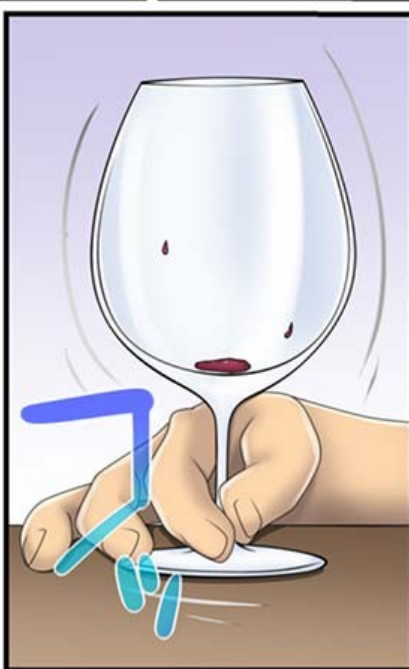
まだ先生が挑戦した
ことのないジャンル
なんです……



不倫もの!……とか









今日は…

飲まなきゃ
間が持たないよ…!!

この気まずさ…

罪悪感を消したい…!!

……

あ…

やつちやつた…

カッ

あっすぐに
洗えば落ちますよ!

おっ…

High Tide



いいいよ
これくらい…

お気に入りの
Tシャツだって
言ってたじゃ
ないですかー！

ほらほら
脱いでください！

あ…うん…



雪音
ちゃん…

んっ？

んんっ？

知之さ…



セックス
しよう…

でも
Tシャツは…

いいって…
そんなの…



んっ…

ん…

つきやああつ!!

と知之さん??

大丈夫ですか…

僕たちさ…

したことない
だろ…??

こういう映画
みたいなセックス…

たまには
いいだろう??

忘れてしまおう…

あつ…あ…

ひうっ!

知之さんに
身を任せて…

昼間あったこと全部…



はあ...はあ...

あっ...

ほあ

ほあ

ほあ

ズルルッ

あっ!...

ズルッ

ズルッ

んあああっつ!...

夫婦なんだし...

いらないだろ...?

...しないんですか...?

知之さん...
避妊...

ほあ

ほあ



めったに飲まないお酒を
飲んだからか...



そもそも夫との
セックス自体が久々
だったせいかな...

昼間のことが
あったせいかな...



すごく感じてしまう...

夫らしくない
乱暴なセックスが

すごく良い...

あっ!
あっ!

あっ!
あっ!



えっ？...

もう一回
ですか...？

あああ〜

すすごい...
知之さん...!!

知之さんと結婚して数年...



お互いを
求めた...



こんなに燃えた夜は
初めてかもしれない...

何かのスイッチが
入ったかのように...



またイッ
ちゃう...!

あっ...イク...



~~~~~♡♡♡



.....

さっきは  
ごめんね...

...え?

乱暴なこと  
しちゃってさ...

...ああ!

明日割れた  
お皿を片付け  
ないとですね...

ああ僕も手伝う



今日鶴野さんに  
言われたこと考えててさ…

…!!

ショックだった  
って話だけど…

彼の言うことも  
一理あると思ったんだ…

はぁ

『俺とお前でネタを  
作ればいいだろっ?』

はぁ

僕は何年も  
純愛ものばかり  
描いてるからさ…

たまには過激な  
要素も必要かもな  
って…

不安だらけ  
なんだけど…

ネタになるか  
わからないですけど…

ん?…

すっ

やってみようかな…  
不倫もの…

もし良ければ  
私の…

友達から口止め  
されている話を  
しましょうか…?





へえ…どんな？

……  
OL時代の友達  
なんですけど…



…？



ふう…  
洗濯物  
お終い！…



何？…

ひょい

ベランダの外？  
下の道路…？

えっ？  
あ…



TSURUNO

今、ベランダの  
外見れるか？

下の道路



新着

トーク

TSURUNO

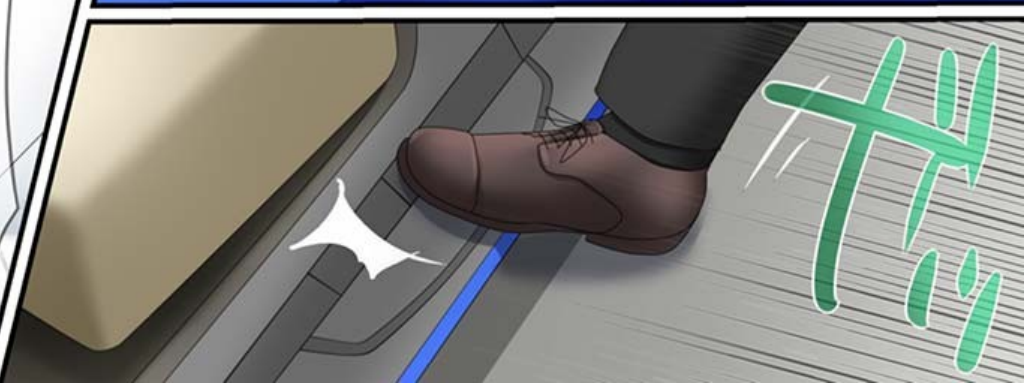
鶴野さん…!!







海







…あ



されるかと思っ

なそ…そんなわけ…



固いこと言うなって

来ちまったんだし海見て行けば？

……



そうします！

怒ってんのか？

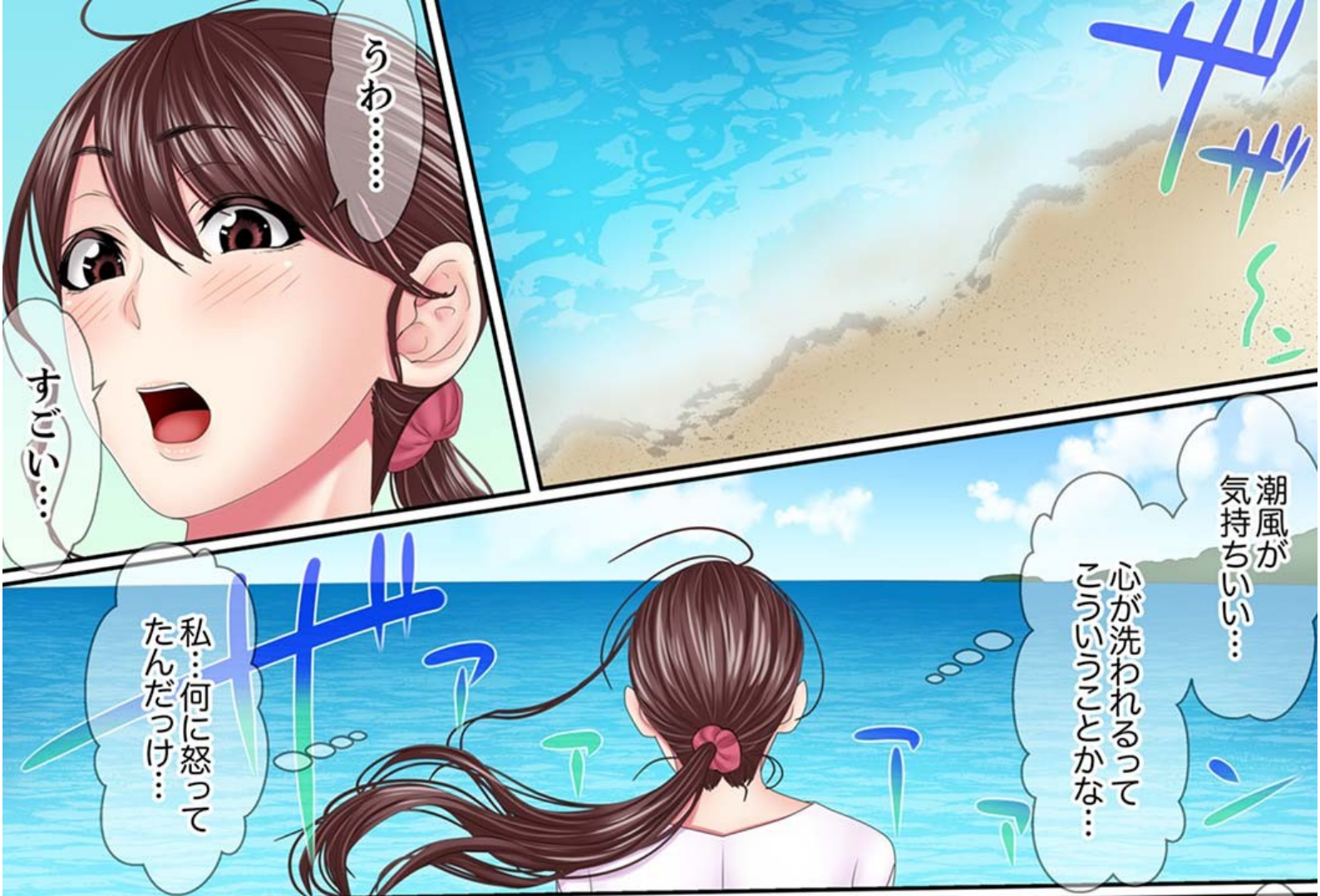
怒ってません！！



どした？

キスでもされるかと思っ





うわ……

すごい……

潮風が  
気持ちいい……

心が洗われるって  
こういうことかな……

私……何に怒って  
たんだけ……



わー気持ちいい！

海に来るの結婚して  
以来初めてかも！

いいだろ？ここ  
俺の秘密の場所  
なんだよ

てか先生と海とか  
行かないのか？

あ……

は裸！！

ばーん

と知之さんは  
あんまり海とか  
好きじゃないから  
……





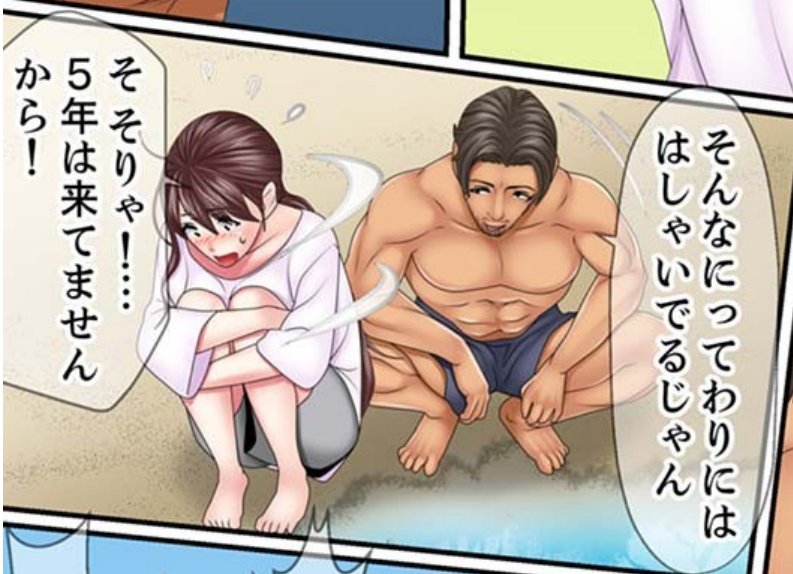
やつあの…  
べ別に私も  
そんなに…

人が多いのも  
苦手だし！  
……



……そうなのかな？

じゃあお前…  
結婚してからマジで  
一回も？…



そんなにつてわりには  
はしゃいでるじゃん

そそりゃ！…  
5年は来てません  
から！



うわあ！鶴野さん  
カニがいますよ！

すごい小さい！

……



うりゃー！

うりゃー！

ひゃー！

ちょちょーと…



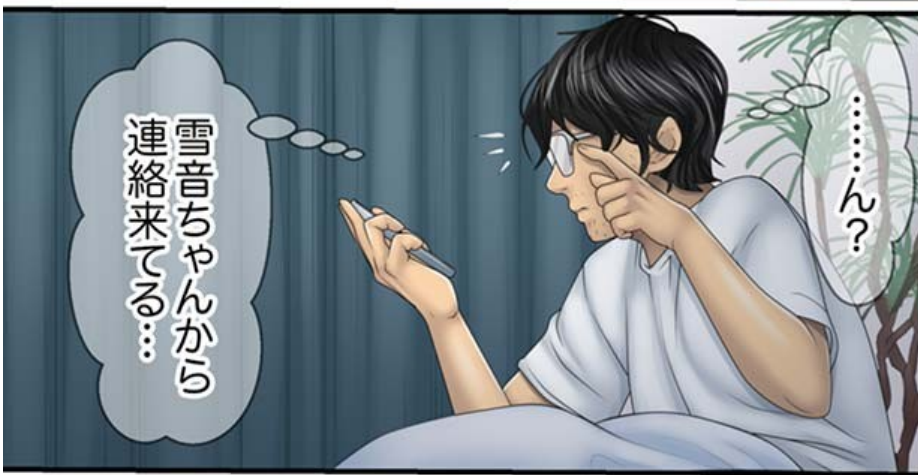
来たからには  
はしゃがないと…

ふーん…

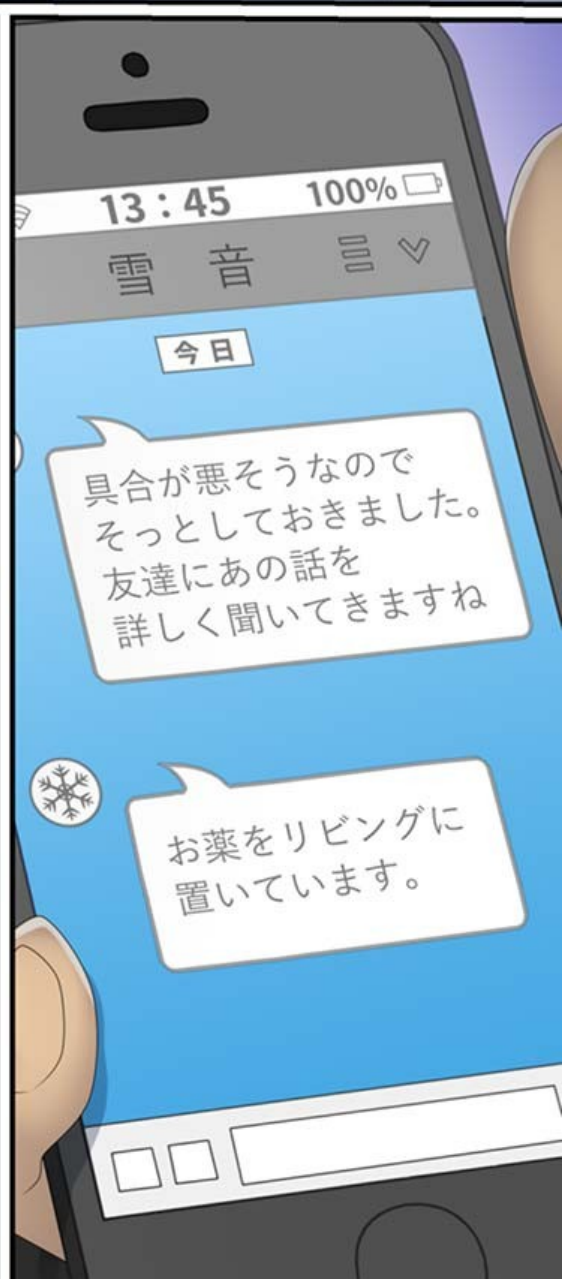








とつと  
友達に  
詳しく







わははは！  
あーあ  
やっちまった  
なー！

もおゝ  
鶴野さんの  
せいですよ！



きゃあうー！



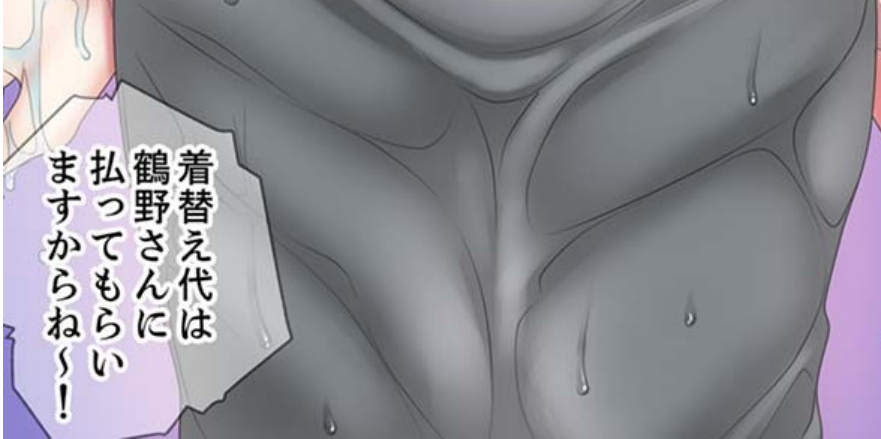
あーもう  
びっしょびしょ！

着るものを買って  
帰らないと…



帰りにどこか  
寄ってくださいね？

ザバ



着替え代は  
鶴野さんに  
払ってもらい  
ますからねー！







そんじゃそろそろ  
車に戻るか



あああ……

ふふふ



ツツ!!





あのとき…



なんだ？  
騒がし！



ああっ！

ダメえっ！

！！

抜いてっ！

抜いてくださいっ！

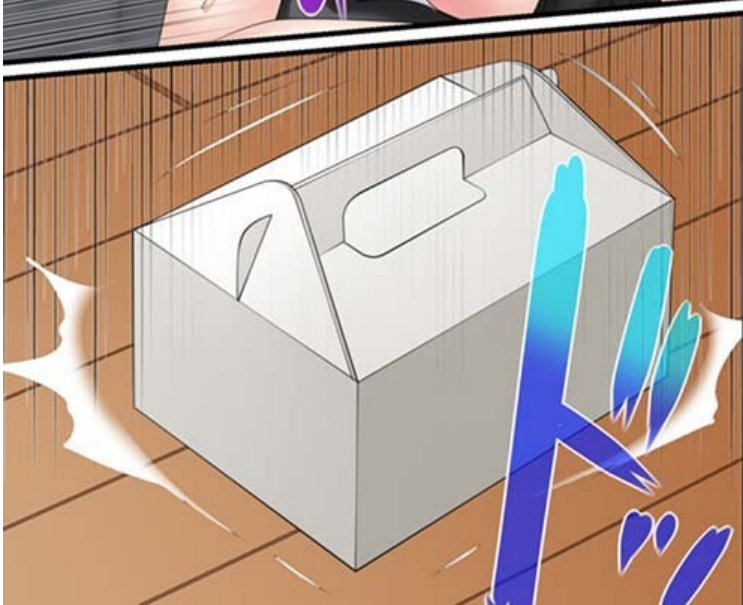
あっ！

んあっ！

あああっ！  
ダメええ！！



俺は見ってしまった…





あいつ!!...俺の妻に...!!

~~~~~!!

何して...

もう先生は
後がない...

わかるよな?
雪音...

ここから先は俺次第...
お前次第だ...

!!

ネタの出どころは
人に聞いたでも
何でも良い...

お前の体験を
先生に話して
売れる本を
書かせろ!

あっ!...

それが先生のためだ!

あ...あ...

ダメです...鶴野さん...

それだけは...

あああつ!



あの時あいつを
殴り倒しておけば...

High Fidelity
まだ間に合ったかも
しれない...

でも俺は...

まぢの
ゲーキやさん

俺は

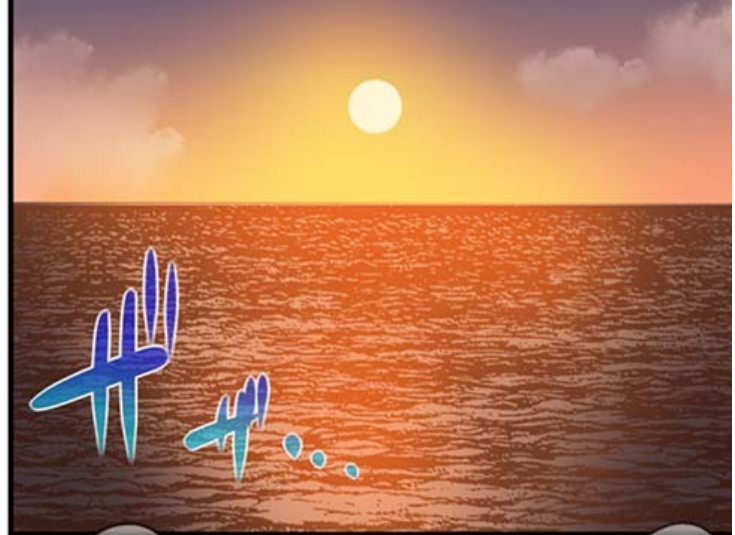
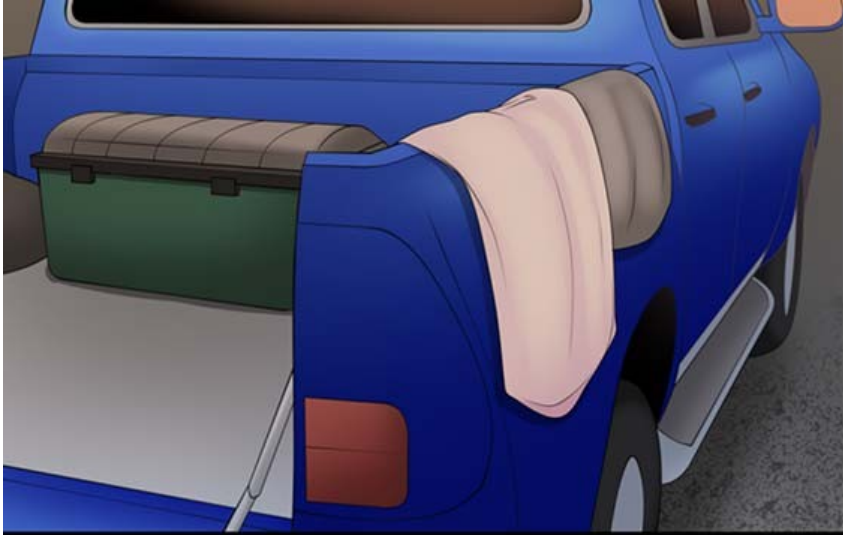
ブル
ブル
ブル

ブル
ブル
ブル

あいつ
鶴野と一緒に
いるのか？

雪音ちゃん...
もしかして...

ブル
ブル



あすみません！
私の服乾かして
下さったんですね！

下着はそのままなので
まだ変な感じですけどね

ありがとうございます！
ございます！



塩水はベタベタ
するしな…

サーファーの
必需……！



鶴野さんお水と
タオルと…

シャツありがとうございます
ございます

おう

おかげでさっぱり
しました



もう乾いてんじや
ないかな

うわあ…
夕日がきれい…

こんな良い場所を
知ってるなんて…

さすが現役の
サーファーさん
ですね！



……ああ

雪音だから
連れて来たんだぜ

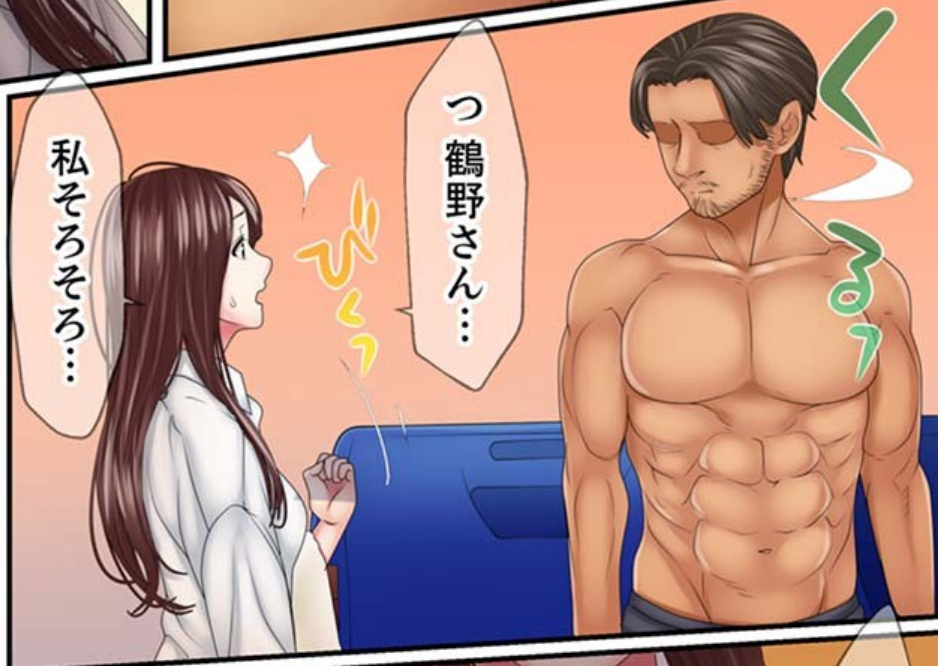


……あ……

つ 鶴野さん……

私そろそろ……

帰らないと……



ああの……



鶴野さん……？





やああつ!!

鶴野さん！

やっ…

あああ……

あつ！

ああ〜っ!!

あつ！あ…
やめて…

ダメっ！

ダメっ！

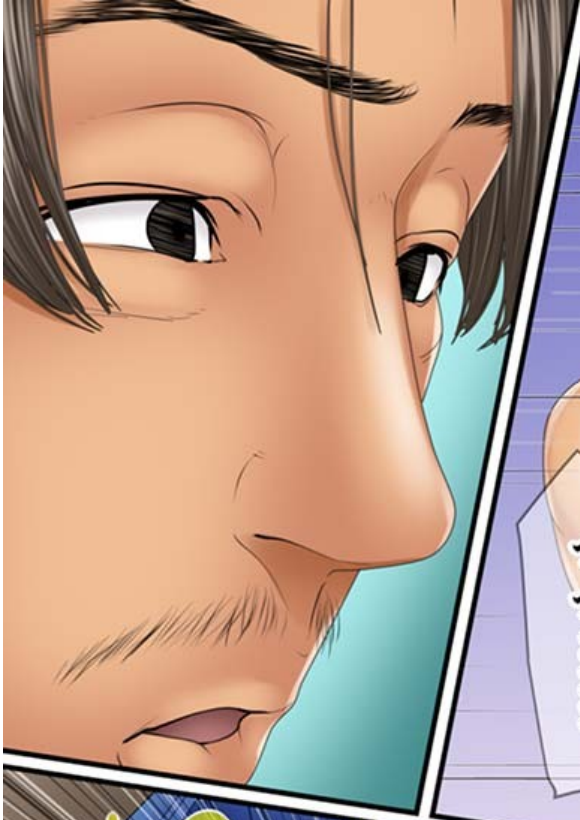
あうっ！

んはああ！

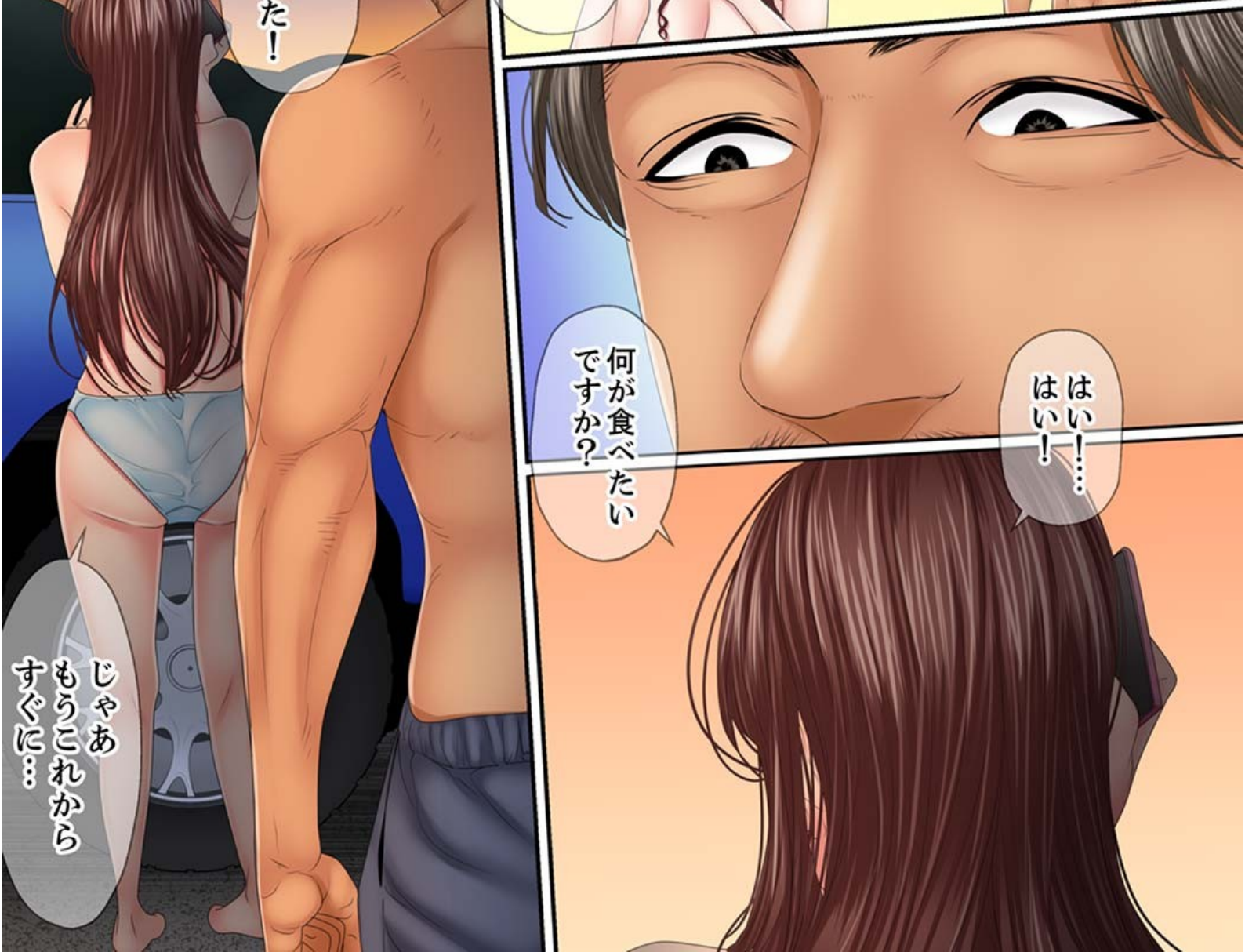
お願い……

~~~~~













鶴野さん…!!!



えっ!や…



何して…!!!

ちよ…  
あああっ!!

スルッ









ふああっ!!...

知之さんに聞かれちゃう!!

どうした?  
このままじゃ  
先生にバレるぞ?

何か言い訳  
を考えろ!

そんな...!!

声が...

ぐっ...

んぐっ!

うっ!

んぐっ!

んっ!

んふっ!

つつ!!

ふっ!

んふうふう!!





バしる...!?

知-之-さん-に-  
バしる...!?

んっ...

ん...

それだけは嫌!!

んぷうううっ!!

足を?...  
大丈夫?...

迎えに...

行こうか?

足を...んっ...  
くじいて...  
しまつて...

なんでも...  
ないんです!

あ...知-之-さん?





友達が…車で  
送ってくれますから…

わからなかった…

それに…



大丈夫です！



悪いでしょう？  
おっ…お酒が…

まだ抜けて  
…んっ！

だから…



知之さんっ！…

自分の中のこの  
感情が何なのか…

ぐ具合が！…

そのっ！…



だが俺はとうとう…



「旦那…き切りますね！  
もう帰りますから…」



気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

[illegible]

気づいてしまった...

自分の中に生まれつつある...

いびつな性癖に...

ご褒美に気持ち良くしてやるよ

あくっ!

あつ!

んああっ!

これっ...ダメええっ!

ああ〜つつ!!

あぁ—つつ!!

またネタができたな

上手いこと言い訳できたじゃないか...

[illegible]

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな

気づいてしまった...  
 自分の中に生まれ  
 つつある...  
 いびつな性癖に...  
 あくつ!  
 ご褒美に気持ち良く  
 してやるよ  
 ああ...  
 つつ!!  
 ああ...  
 これっ...  
 ダメええっ!  
 ああ...  
 上手いこと  
 言い訳できた  
 じゃないか...  
 またネタが  
 できたな













雪音...うっ...

...もうイク...

ダ...ダメっ!

ダメ!  
ダメっ!

中はっ...

あっ!





あつ!  
あつ!  
あつ!...

あつ!...

あつ!...

う...あつ...

んっ...

雪音...

もしかして  
イッたの?  
今...

ち...

違いますっ!...

んっ...

か帰ら  
なきゃ...

ああれ...?

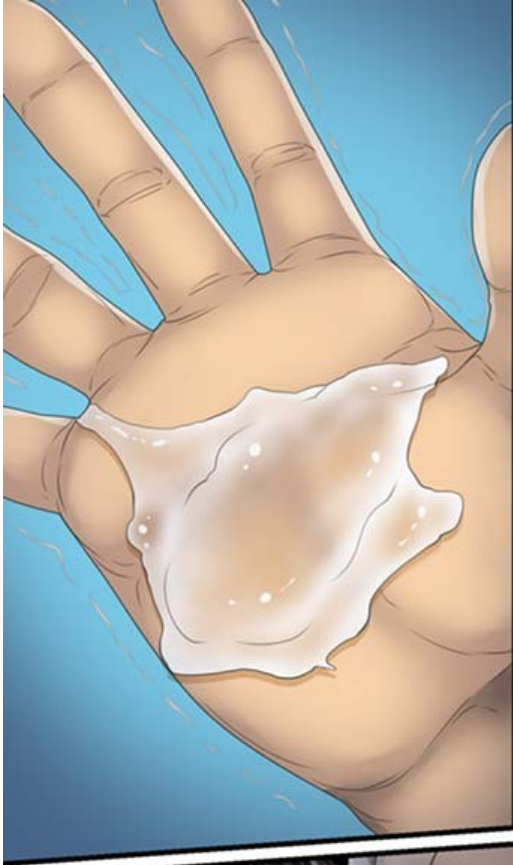
なんか...

おおい!  
大丈夫か?









『先生 新作10万部  
突破おめでとう  
ございます!!』

『いやありがとう!』



なんか感慨深い  
ですね…

僕が担当  
やらせてもらって  
3年ですか?

そうだね…  
この店に二人で  
来るの何回目  
かな?

なんかもうビジネス  
通り越して友人レベル  
だよな僕ら…



君のおかげだよ  
鶴野くん!

いえいえ  
とんでもありません

BAR  
摩天楼

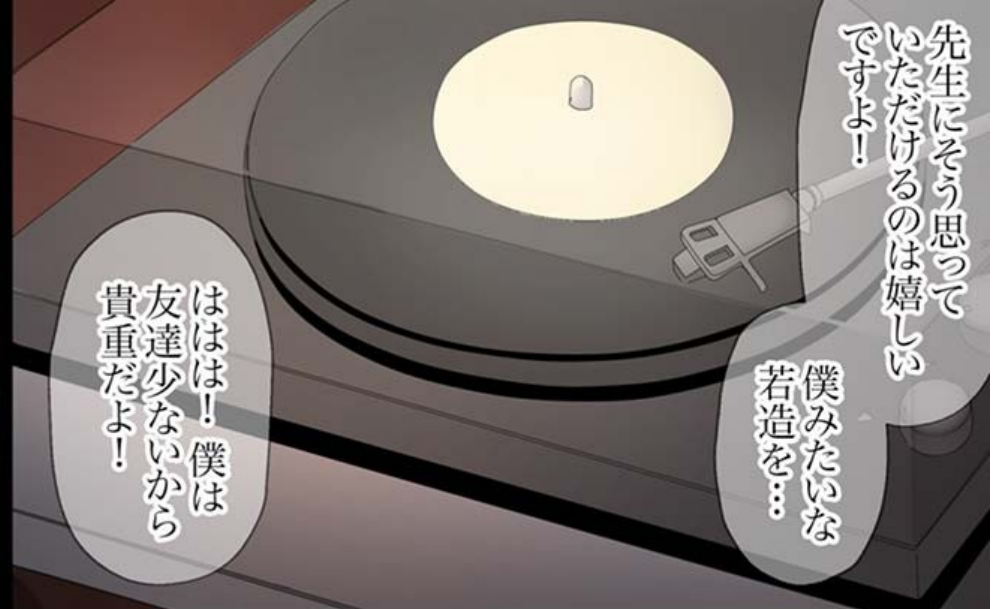
BAR  
摩天楼





まだ結婚とか  
しないの？

若いっつても  
もう君も30  
だろ？



ははは！僕は  
友達少ないから  
貴重だよ！

僕みたいな  
若造を…

先生にそう思っ  
ただけるのは嬉しい  
ですよ！



そんなに得意  
じゃないんだ  
恋愛とかさ

僕なんていいんだよ  
今に満足してるしね



それを言うなら僕より  
先生でしょう

先生ならファンだつて  
沢山いるんですから  
選び放題でしょうに



…まあ…

います



こう見えて僕は  
一途なんですよ  
仕事も恋愛も

おっとー？…

それはまるで  
気になるコが  
いるって口ぶりだなー



それより鶴野くんこそ  
モテるだろ？  
会社でも外でも

趣味でサーフィン  
なんてやってる  
じゃないか

いやいや…

スッ



そっだ…

僕は知っていた…

彼の雪音ちゃんへの  
気持ちを…

知っていたながら…

『高橋先生』

『せんせつ』

『知之さん…』

奪ったのは…

確かに僕の方だ

…だけど!!



『先生の作品はコアなファンにしかもうけけない』

ズル  
ズル

『雪音さんにも意見を  
出してもらいましょう』

『不倫ものとか  
どうでしょう?』

僕への復讐か?

…これは嫌がらせなのか?

いったいどういう  
つもりなんだ…

ズ  
ッ

買っちゃえよ

僕なりの  
やり方でね…





彩夏は相手の男と共に古  
直人は自分の予感が現実  
震える拳を落ち着かせると

一歩一歩と足を進める



ただいま…



知之さん…

入っても  
いいですか？

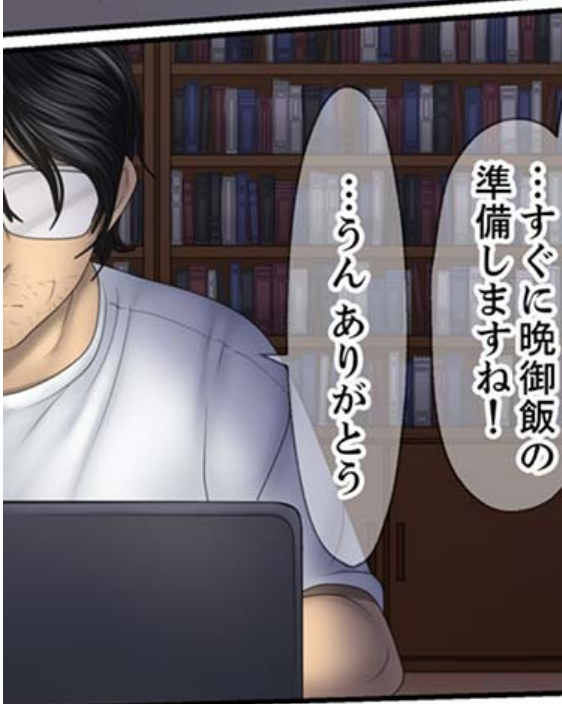


どうぞ

あの…遅くなつて  
すみません…  
今帰りました

…すぐに晩御飯の  
準備しますね！

…うん ありがとう



ペペロンチーノで  
いいですか？

うん…あ…



そらだ雪音ちゃん…

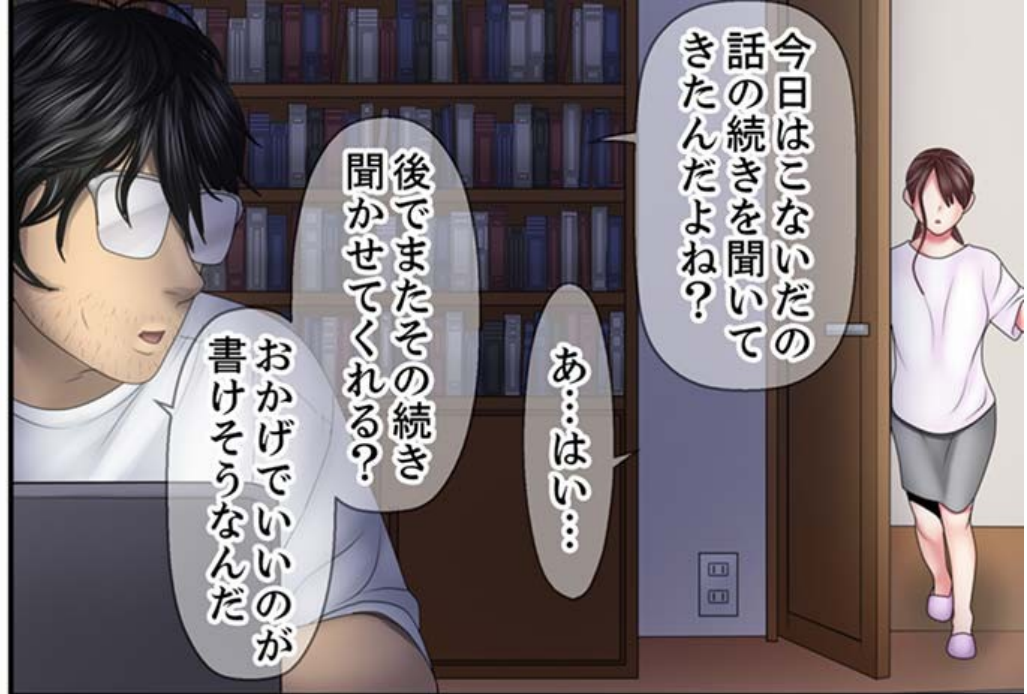
あのさ…



はい！

何でしょう？







彩夏の両脚は大きく広げられ  
男の頭が小刻みに揺れるたび

「あつダメです・・・」

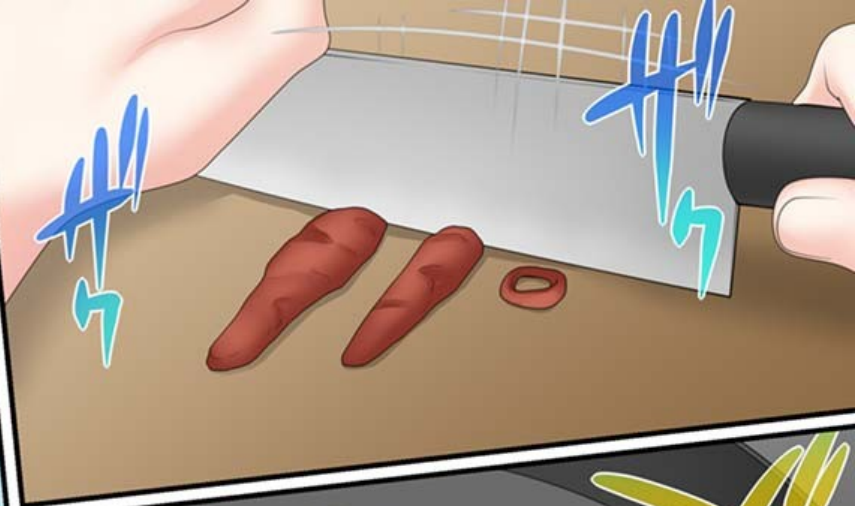
言葉では男の行為を拒否し  
ビクビクと両脚が震え顔  
直人を激しい心の痛みが  
彩夏を憎いと思う気持ち  
彩夏を愛おしいと

直人は一

向からは彩夏  
ハ○スが出入り  
やぴちやと卑猥  
を伝い、カウチを伝





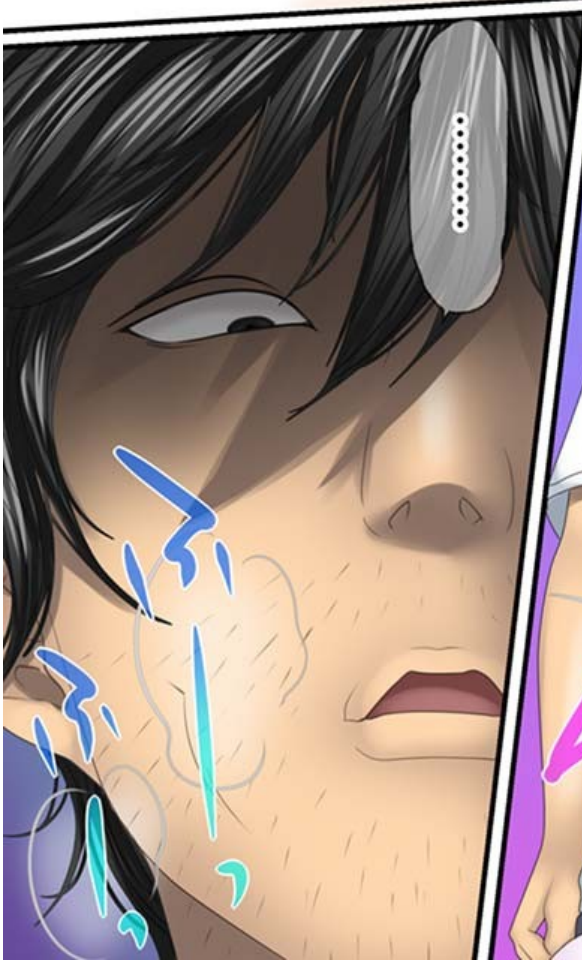






知之さん：  
なんだか怒ってる  
みたい：









立って 雪音ちゃん...





入れるよ

ぬちゃ

あっ！

ズン

ああっ！

「き、気持ちいい…」  
彩夏は恍惚の表情を  
こんなに彩夏の顔を見  
直人は見たことのない  
「そんなにアソコ締め  
「だって…気持ち良  
直人とのセックスでは  
ほら、もつと突いて  
めんっ！あんっ！…



あ…つく…

…んっ！

き…気持ちいい…!!



凄いの出来てるじや  
ないですか

先生…









はあ...

はあ...

はあ...



.....ん



おどろく

ハッ



ゼ

ゼ



はい 高橋です

あおはよう  
ございます！  
鶴野です

もしかして  
寝てらっしゃい  
ました？

うんでも  
大丈夫だよ



00:00 66%  
XXX-XXX-XXX  
鶴野さん

拒否

...鶴野からだ！  
応



すみません  
お休みのところ…

昨日送っていたいた  
原稿のご返答をと思  
いまして…

先生

これは売れる予感が  
しますよ！

すごく良い出来じゃ  
ありませんか！

えっ？あ…

ありがとう…

気に入ってもらえて…  
良かったよ…

ええ！

若干赤入れして  
お戻しさせていただき  
ましたので

調整後この路線で  
進めましょう！

それではお休みのところ  
失礼しました

なんだ…？今の反応は…

僕が見た状況をそのまま  
文章に起こしたハズなのに…

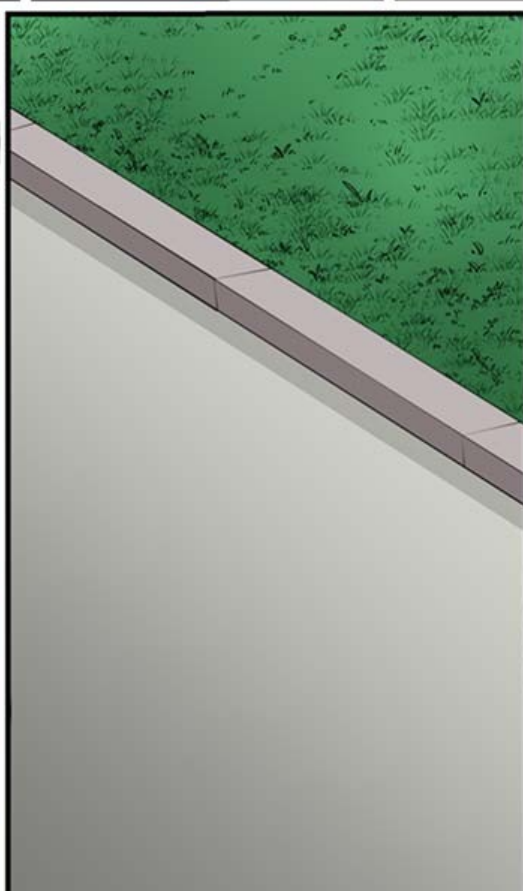
一体何を…何を企んでる？

鶴野…

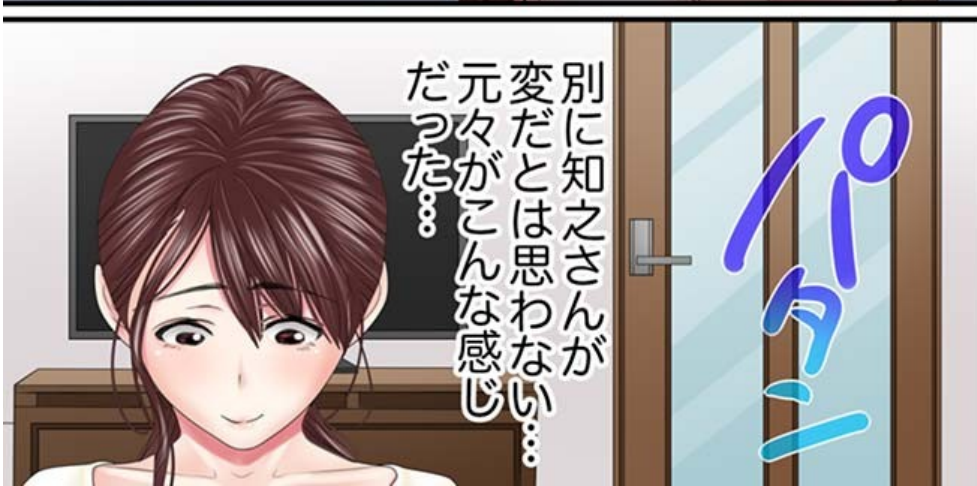
通話終了



それから  
3週間が過ぎた









多分……

変わってしまったのは  
私の方だ……

『雪音……お前ってさ……』

『かわいいよな相変わらず……』

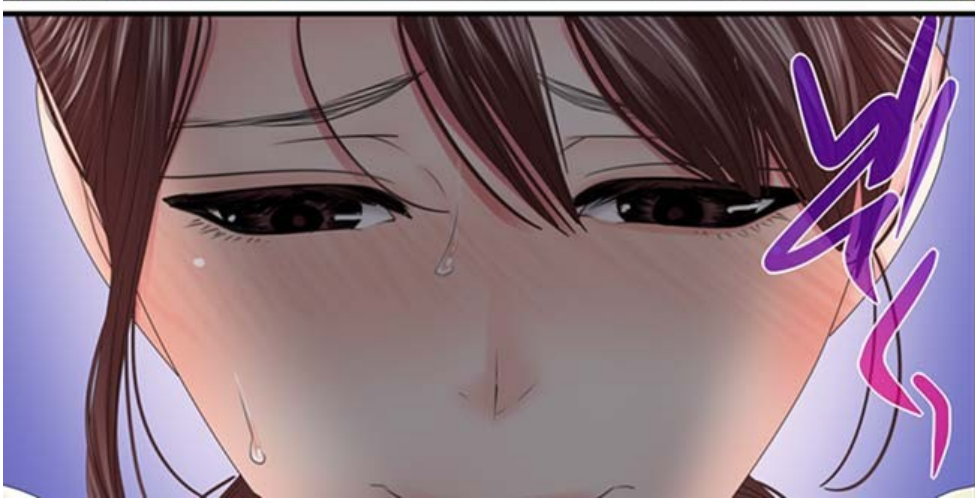
『先生より前から……  
俺はお前を……』



っっ……

あんなこと言われたの  
……初めて……

それに……





知之さんは…

一般的な男の人と  
違うのかもしれない…

それは何となく  
結婚前から思っ  
ていたことだ…

セックスよりも  
心の繋がりに強い  
美徳を感じている

それは作品にも  
表現されているし  
それで売れできた

紳士的な態度が彼の  
魅力でもあった

あん…

んっ…

あ…

私は違う…

あっ…

あっ

性に興味を持つのも  
早かったし…

知之さんのいない間

何度もこうして自慰を  
していた…

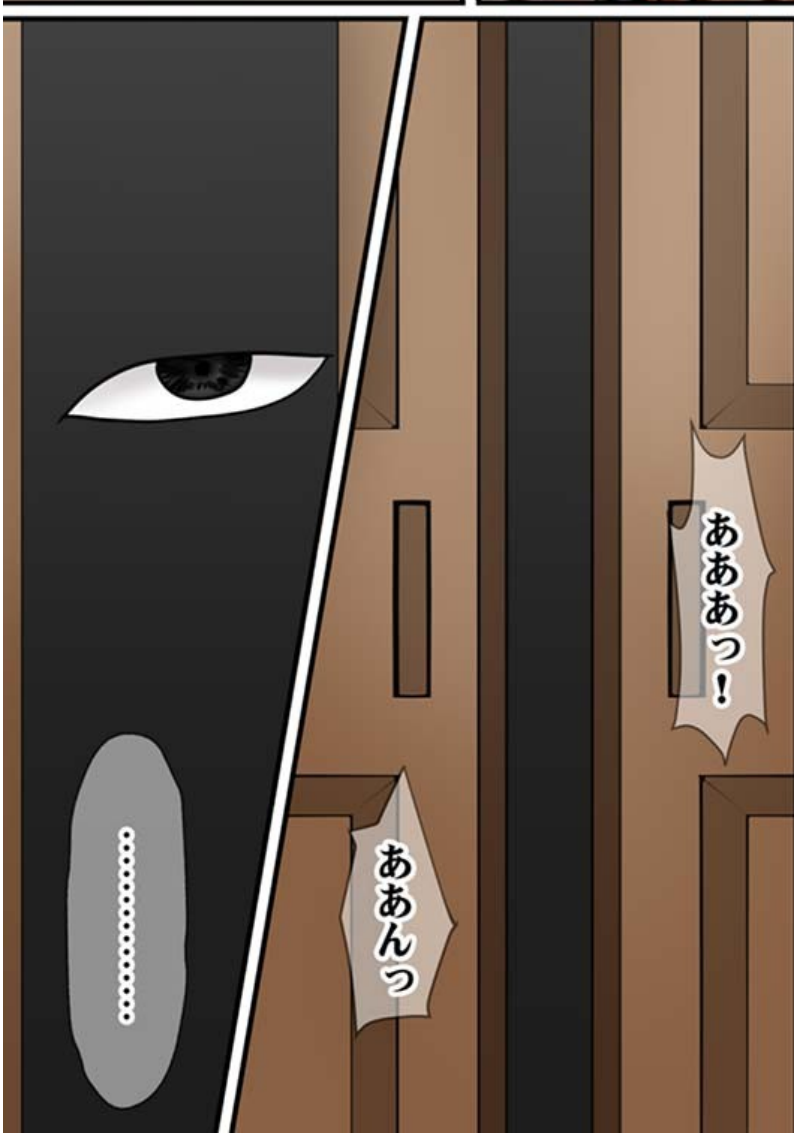
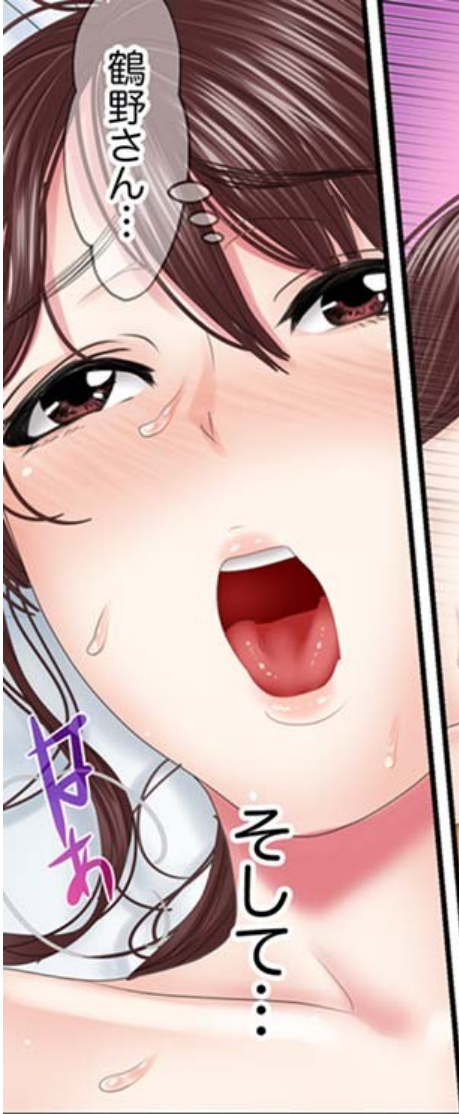
んっ…

っは…

あっ

あっ…







まだ潤んだピンク色の  
二指を当て中指と薬指を  
うさく潜り込ませた。  
あつ...は...あん...  
...ん...あ...ふう...  
、彩夏の頭の中をどんな妄想  
支配しているのだろう...  
彼女が







んああつ

あつ...

はんつ...

あつ...

考えがつかない...

頭の中は...

はっ...あつ...

鶴野さんの事ばかり...

突然体を  
求められて...

本心もわからない  
ままなのに...



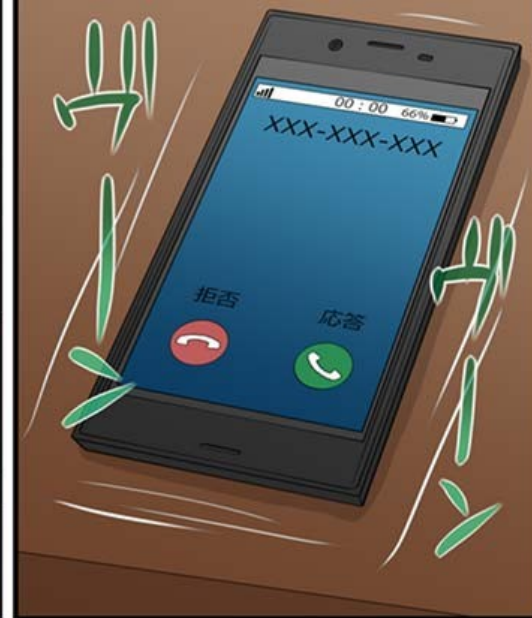






お疲れ様

はい 高橋です



次につながる  
盛り上がりが必要です

少しインパクトに  
欠けると言うか…

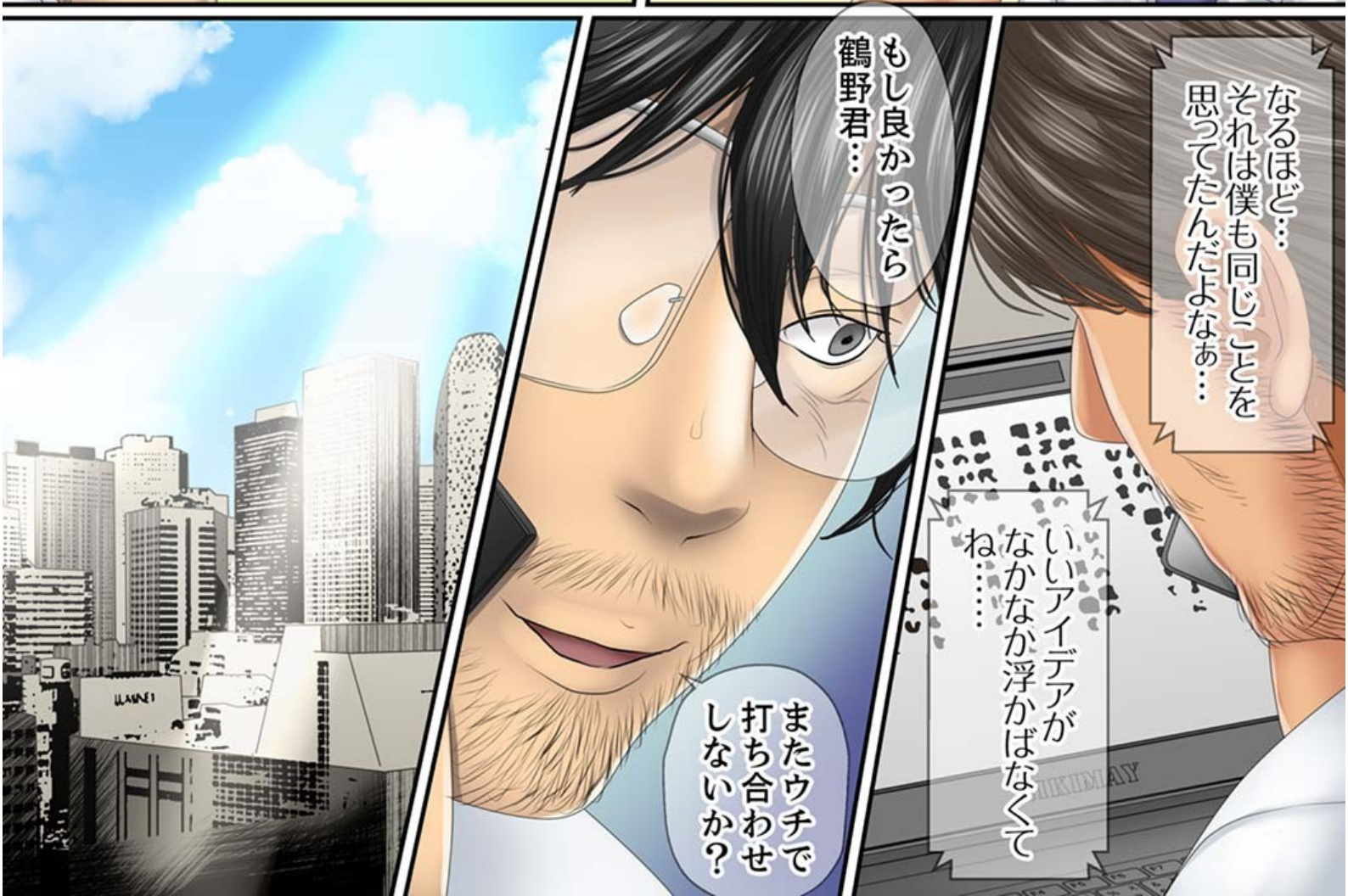
最後の引きなんです  
よね…



先生プロット  
ありがとうございました

いい出来では  
ないでしょうか！

ただご相談したい  
ポイントがありまして…



もし良かったら  
鶴野君…

またウチで  
打ち合わせ  
しないか？

なるほど…  
それは僕も同じことを  
思ってたんだよねあ…

いいアイデアが  
なかなか浮かばなくて  
ね…





おはよう  
雪音ちゃん!

あおはよう  
って...もう  
こんにちはですよ

カッ...



トクッ

は...えっ?

あと1時間で  
鶴野君が打ち合わせに  
来るからね



ふふふ...

大丈夫かい?

動揺  
している...



あ...

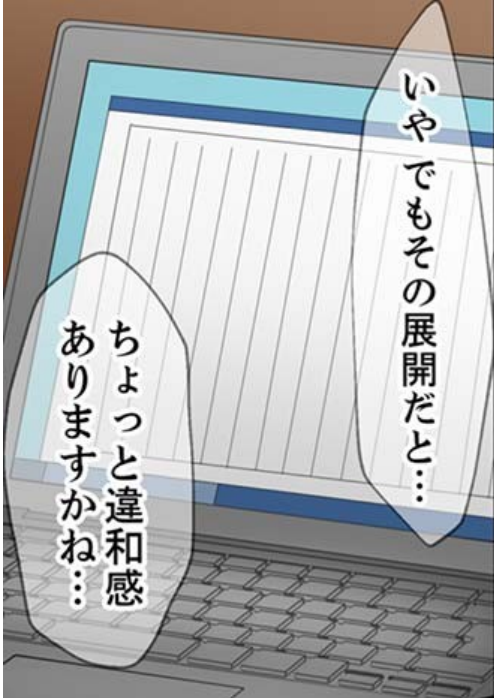
ごめんなさい  
その...ビツクリ  
しちゃって...  
知之さん髪が  
ないの久しぶりに  
見たから...



あっ!.....

X  
チャ  
ニッ





いやでもその展開だと…

ちよっと違和感  
ありますかね…



そこで彩夏と  
直人が—



直人は彩夏や不倫相手を  
憎んでいるのでは？

なるほど…  
あえて告白ですか…  
…でも…



だったらこういうのは  
どうかな…？

彩夏が不倫をしていることを  
直人は知っていると告白するんだ



なんだか…

な…



直人は不倫現場を  
見させてくれと  
懇願する

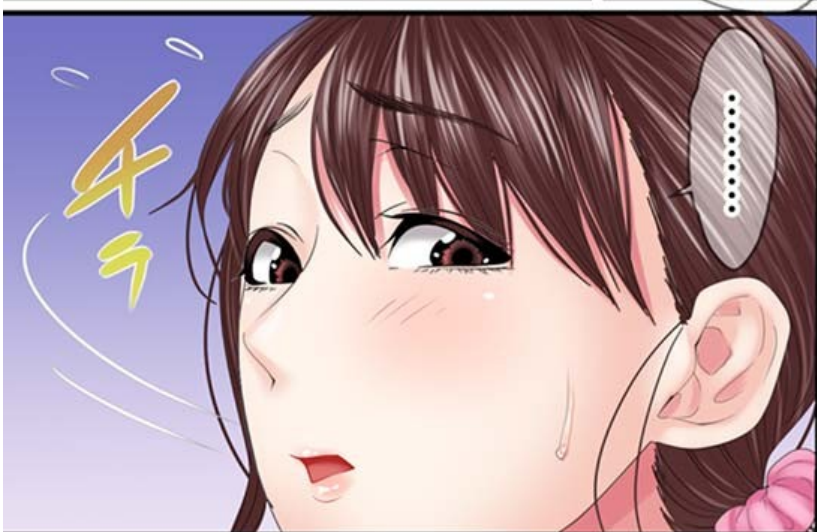
実の妻にね…



普通修羅場に  
なりますよね？

その後は…









お酒飲む  
つもりですか？

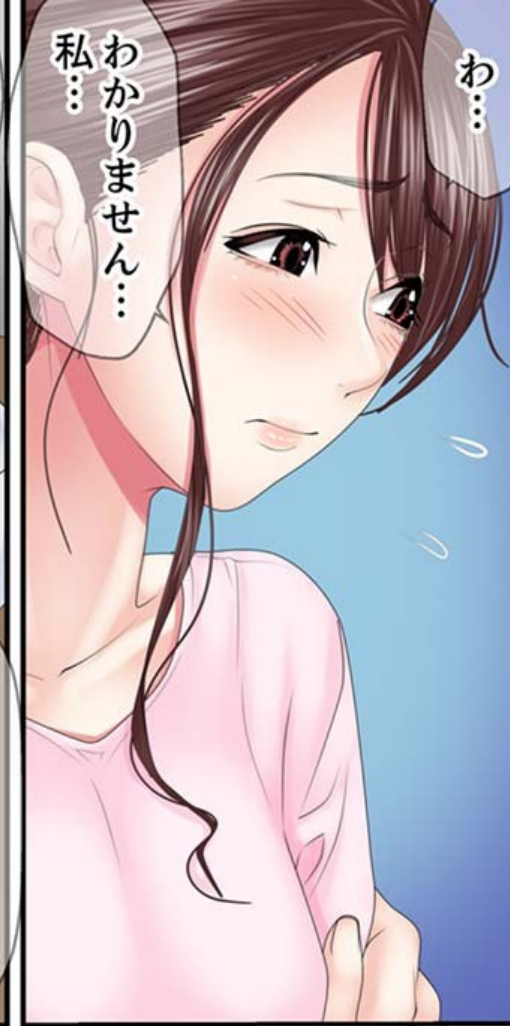
鶴野さんはまだ  
仕事中ですよ？

この後も仕事か  
あるのかい？



煮詰まった  
打ち合わせは  
飲んで話した方が  
進むだろ？

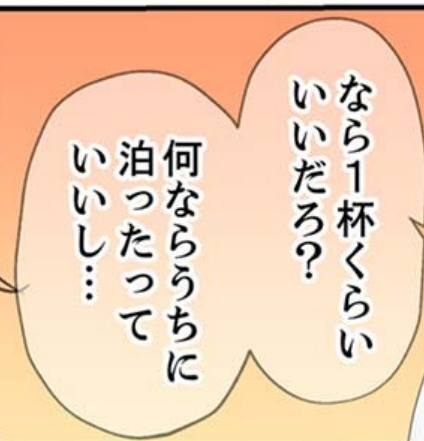
ええっ!?



わ...  
わかりません...  
私...



と知之  
さん!



なら1杯くらい  
いいだろ？

何ならうちに  
泊ったって  
いいし...



まあこの時間なら  
もう自宅に直帰  
ですね...



どうして知之さんの方から  
そんなこと...



いいえ  
私は...

どうして...??



いい  
雪音ちゃんも  
ほら!

雪音ちゃんも  
ほら!

良いワインを  
買ったんだ...



つ 鶴野さんの都合も  
考えないと...

ご迷惑ですよ...

じゃあ一杯だけ  
いただきます

せっかく  
ですから...

その代わり...

仕事はきっちり  
して帰りますよ?

そう来なくちゃ!

ん

乾杯!

気持ち  
もたないよ...

これ以上この空気が  
続くなんて...

この前あんなことになった  
鶴野さんまで同じ空間にいる...

ただでさえ  
知之さんと  
気まずいのに  
.....







今日はこれで  
お終いかな

そろそろ  
帰ります

パン

あ……  
すみません  
今日はせっかく  
来ていただいた  
のに……

結局知之さん  
寝てしまって……

いいさ疲れが  
溜まってたんだらう

すみません  
ホント……

俺が先生を  
寝室まで連れてくよ

うん……

いつもはこれくらいじゃ  
寝ちゃうほど酔わないん  
ですけどね……

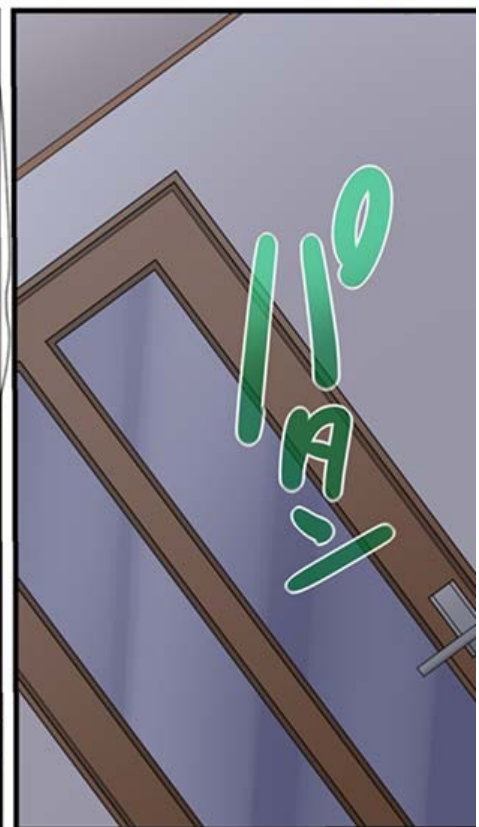
知之さん！  
知之さん！

鶴野さん  
お帰りですよ！

ほら  
先生……

ん……うん……







鶴野さんにとって  
何なんですか？…

ただの火遊び  
ですか？…

ずっとそればかり  
考えて…

おい雪音…

遊ばれてる  
だけかな？  
とか…

考えすぎて  
辛くて…

教えてください…

どういうつもり  
なんですか？

はつきりして  
欲しいんです…

でない私…  
これ以上…

心がちません…

雪音…

おしゃべり

悪かった…





雪音の事がずっと  
好きだった



先生が雪音と知り合う  
ずっと前から…



だからこれを  
思いついた…



雪音を先生から  
奪う方法…

私を…脅して  
襲うのが…?



そうだ…

だからお前は何も  
悪くないんだ…



悪いのは俺…



雪音は  
ただ…

俺に襲われ  
たんだ

んっ…





声…出しちゃダメだ…

あっ…

んっ…

んっ！…く…

んっ…

んっ

はあ…

あ…

ううんっ！

鶴野さんとは  
終りにする気  
だったのに…

あっ

っは…

潔く遊びだと言われた  
方が諦めがついたのに…

彼の言葉で私の心は  
容易く傾いてしまった…

『雪音の事がずっと  
好きだった』





直人の体は  
ソファの上で  
彩夏に

直人の体温が残る  
ソファの上で――

あつ

あ...

彩夏は男のイチモツを  
受け入れる...

挿れるぞ  
雪音...

は...はい...

んあああつ♡

あつ!

挿入ただけで  
オーガズムに達した

はっ!!!  
あああつ!!!

あつ...つぐ...

あんつつ...

身を仰け反り  
震わせながら  
彩夏は――



ふああっ！

あっ！

はあ

はあ

ダメっ！  
声…

出ちゃうっ！…

あああっ

鶴野…さん  
もう少し…

ゆっくり…

あっ！

ああんっ

雪音…  
来て…

あ…

服脱いで…

はあ

はあ

雪音のカラダ…  
全部ちゃんと  
見せて…

は恥ずかしい  
です…

あん  
あん

10  
サ

ぐい

……







彩夏の嬌声きょうせいを聞くと背筋にぞくぞくと快感が走った

ほあ

ほあ

ス

ス

ス

ス

全身に鳥肌が立つ感覚…

そしてその度に心を激しい痛みが刺す

彩夏の潤んだ目を見ては興奮し…

その姿を見ているであろう男に対し嫉妬する…

おっ

おっ

おっ

あふう

あんっ

快感を貪るむさぼように腰を振る様を見て

あっ

あんっ

あんっ

あっ

心が張り裂けそうだった…



しかしこの快感と憎悪…

あっ！イク…

イクううう!!…

嫉妬が入り混じった  
カオスこそが…

あああっ!!…

私の中の禁断の性癖を  
満たしてくれるのだった…

あっ！

あっ…

雪音…俺も…

俺ももう…!!…

中につ…

雪音の中に  
つつ!!…

とうとう妻の中に  
男が射精をする瞬間…

襲ってくるのは  
怒り嫉妬憎悪…

あっ！…

鶴野さん  
つつ!!…

凄まじい心の痛み…  
そして興奮!!

はあ

はあ

雪音つつ！  
出る!!…

それを超えると…

あああっ!!…







週末空けとけよ  
デートしようぜ

ボニ

海はさすがにもう  
寒いけどな

どっか遊びに  
行こうか映画とかさ...

はい！

おやすみ  
なさい...

じゃあまたな

カチャン





鶴野さんと…会う約束  
までしてしまった…

終わりにする  
つもりだったのに…

『お前は悪くない…』

『雪音はただ…』

『俺に襲われたんだ…』

鶴野さんの言葉…

あれって  
要するに…

もし知之さんに  
バレても

鶴野さんが全部  
罪をかぶるって  
意味だよね…

あんなこと  
言わせるなんて

私って嫌な女かも…



嬉しそうだね  
雪音ちゃん…



と知之さん!?



えっ!?



僕たちの愛は完全じゃ  
なかったんだね…



あんなに愛し合えてる実感が  
あったのに……



悲しくてやりきれないよ……

あんなに…







To be continued